



初代藩主水野勝成入封400年記念

ののぐちりゅうほけんしょうはいくたいかい

第23回野々口立圃顕彰俳句大会

## 記念講演会

りゅうほ

演題『立圃と福山』

—新しい城下に新しい文化を

400年前、福山は茫々たる  
葦原だった。

この地に入封した水野勝成  
は、「この江こそ、行く末、栄ふ  
べき所なり」と、葦を刈りすて、  
深き沼を埋めさせ、城郭を構  
え、家々を並べ、町々を分かつ  
せ、水を堰き流し、大船小船入  
る堀江となし、福山と名付けて  
……。

野々口立圃が福山に招かれた  
きっかけとは？

江戸初期の福山とは？

立圃が福山に伝えた事とは？

入場無料

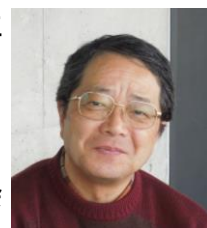
\*講演会のみ参加も

講師 藤井康治 (ふじいこうじ)

2006年3月まで福山市内の公立  
高校に国語科教諭として勤務。

2015年3月まで公立高校国語科  
講師。

現在、福山市老人大学、神辺文化会  
館文学講座、いばら文化教室で、源



氏物語など古典文学の講師をつとめる。2006年  
から始めた朝読会は、自らの主催でおよそ90回、その他  
を含めると130回を超える。エフエムふくやま(レ  
ディオ BINGO)の「朗読」担当者のひとり。\*レディオ  
BINGO 朗読の時間(朝6:45~7:00)

日時 4月21日(日) 12時~

場所 まなびの館ローズコム4階大会議室

主催 福山文化連盟

共催 福山城築城400年記念実行委員会

後援 福山市/中国新聞備後本社

協賛 (社)俳人協会/ (社)日本伝統俳句協会/現代俳句協会

問合せ 福山文化連盟事務局 ☎084-931-6753